

# 県中学新人戦・バレーボール

県中学校新人大会は16-17日、県内各地で5競技が行われ、バレーボールは金ヶ崎男子が決勝で見前南を2-1で振り切り、初優勝に輝いた。江刺一男子は準決勝で敗れ3位。剣道の女子個人は、染谷ちか(金ヶ崎2年)が頂点。バドミントンでは、男子団体の前沢、水沢南、女子

団体の衣川、水沢南がベスト4。男子シングルスは菊地拓也(江刺一2年)、男子ダブルスの立野良樹・菅原央稀組(水沢南2年)が決勝で惜しくも敗れ準優勝。卓球は、男子団体で金ヶ崎が3位、女子個人で小川真由(東水沢1年)が準決勝で敗れ3位となった。

# 金ヶ崎男子 初優勝



金ヶ崎男子が初優勝。コート上で喜ぶメンバーたち

## バレーボール

(奥州市総合体育館ほか)

### 【男子】

#### ▽1回戦

水沢2-0岩大附

江刺一2-0山目  
水沢南2-0釜石  
▽準々決勝  
金ヶ崎2-0下橋  
和賀東2-0水沢  
江刺一2-0雫石  
金ヶ崎2-0遠野東  
見前南2-0水沢南  
江刺一2-1大船渡一  
▽準決勝

金ヶ崎2-1和賀東  
見前南2-0江刺一  
▽決勝  
金ヶ崎2-1見前南  
(金ヶ崎は初優勝)

▽2回戦  
江刺一2-1九戸  
大船渡一2-1前沢  
小山2-1世田米  
▽準々決勝  
雫石2-0江刺一  
厨川2-0小山  
▽準決勝  
雫石2-0大船渡一  
厨川2-0高田東  
▽決勝  
厨川2-0雫石  
(厨川は5年ぶりの2回目の優勝)

地元開催となったバレーボール競技は、金ヶ崎男子が、決勝で強敵見前南をフルセットで下し優勝。優勝の瞬間、コート上で飛び跳ねて喜びを爆発させた。

第1セットは、序盤から金ヶ崎のペース。丁寧なサーブカットから伊藤尚輝(1年)のレフト攻撃などで着実に加点し、25-23で押し切った。しかし、第2セットは、見前南の185センチ・吉田奎真(2年)の高さのあるレフト攻撃、サーブポイントなどで連続失点を重ね、21-9と一気に12点差をつけられる展開。終盤激しく追い上げるも17-25で失った。

勝負をかけた最終セットは、金ヶ崎が先行しながらも互いに点を取り合う接戦。金ヶ崎は、中盤に逆転されるも伊藤、武田柁嗣(1年)のレフト、北條忠輝(2年)のライ

## 競り合いで強さ

### 金ヶ崎

ト、阿部稜(2年)の速攻などで再逆転。最後は25-22で振り切った。

金ヶ崎の畠山悠太(2年)は「みんなでつないで勝つことができ」と優勝を喜びながらも「プレーの中で一人一人の課題があった」と試合の内容を反省。準決勝、決勝と第1セットを取りながら2セット目を奪われ、フルセットにもつれた金ヶ崎チーム。「勝負どころでミスがある。県選抜大会までにはメン

バーが意識を持ってメンタル面もプレーももっとかっりしたい」と表情を引き締めた。

角度のあるレフトスパイクで得点を重ねた武田柁嗣は、「ミスが多くてみんなに迷惑をかけた」と硬い表情。「県選抜ではミスを少なく、コースを狙っていききたい」と次を見据え、自身に気合を入れ直した。





# 中総体へ気持ち新た

江刺一

した。

今大会は、江刺一男子が準決勝で敗れたものの、堂々の3位。小学時代に全国経験のある1年生らも力を発揮し、多彩な攻撃で勝ち上がった。

江刺一の大会前の目標は「ベスト4」。準決勝の見前南戦ではサーブで崩され、高さ

のある相手に攻勢を許す苦しい展開が続いた。ゲームキャプテンの小野寺竜樹(2年)は「目標は達成できたが、自分たちのバレーができなかった」と無念の表情。チームキャプテンの石橋祥吾(2年)も「まだ粘りが足りない」と内容を反省

した。

次の舞台は来年2月の県選抜大会。サーブカットとコンビネーション強化をチーム課題に冬の練習に臨む。「今回よりもいい結果を」と小野寺、「この悔しさをバネに勝ちたい」と石橋。来年の県中総体を見据え、この冬のチームのレベルアップを誓った。